

第5組 インターシティ・ミーティング 報告

大阪北RC 会長 **栗本友和**

IM実行委員会 委員長 **鴻池一季**
(大阪北RC)

テーマ：「ロータリーに輝きを 大阪に元気を」
ホストクラブ：大阪北ロータリークラブ
日時：2014年2月7日(土) 14:00～19:30
場所：綿業会館(一般社団法人 日本綿業倶楽部)
出席者：第1部242名 第2部103名

かつて大阪は“東洋のマンチェスター”と呼ばれ、その繁栄を世界に誇っていました。

その矜持を込めて大阪が誇る大建築家渡辺節の設計のもとに造られた綿業会館で、往時を振り返り、私たちの愛する大阪をさらに元気にし、ロータリーにより一層の輝きをもたらすために私たちは今何をなすべきかを講演と討議を通じて考えたく「ロータリーに輝きを 大阪に元気を」を今年度の第5組のテーマとしました。

泉ガバナーの点鐘で始まった第1部では2つの基調講演を行っていただきました。

基調講演①の講師は、NHK時代に秀逸なドキュメント番組を多数手掛けられた経歴を有され、現在は「関西・大阪21世紀協会理事長」の任を担われ“水の都大阪”運動を提案・推進されておられる堀井良殷氏です。堀井氏には「歴史に学ぶ大阪の未来」との演題で講演を行っていただきました。同氏は、「なにわ大阪興亡史」と題する著書をお持ちで、その歴史について深い造詣から、大阪のアイデンティティーと矜持から「大阪を元気に」するための多くの

示唆に富むお話をお聞きすることができました。

基調講演②では、旧自治省でキャリアを積まれた後、観光庁長官等の要職を歴任され、現在は京都大学経営管理大学院特命教授に就任されている溝畑宏氏に、「大阪～関西のハブとして世界に挑戦」との演題のもとに講演を行っていただきました。溝畑氏は、官僚としての経歴だけではなく、Jリーグの大分トリニータの代表取締役を務められるという経歴もお持ちで、大阪の観光資源等に着目し、経営者的な視点を含めて、大阪をアジアのハブとなる都市にするための貴重な提言をいただきました。

立野ガバナーエレクトの乾杯で始まった第2部の着席、夕食懇談会では、第5組のロータリアン同士が卓を囲みながら「ロータリーに輝きを 大阪に元気を」もたらすにはどうすべきかをディスカッションしていただきました。

大阪を元気にして、ロータリアンの本分である職業奉仕に専心し、そしてロータリーに輝きを与えんと決意と熱気に溢れた懇親の場となりました。

